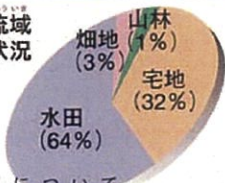


も 大活躍するんだね。



青毛堀川流域
土地利用状況



青毛堀川について
流域面積 34.54km²
河川延長 11,238km
流域市町村 加須市、駒西町、久喜市、鷺宮町

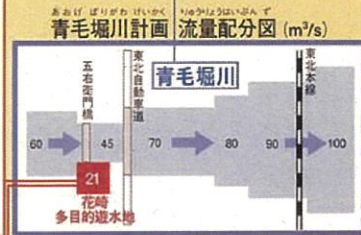
実績浸水状況図(昭和57年9月 台風18号)

花崎多目的遊水地ではこんな施設が予定されています。

テニスコート、修景池、芝生広場、運動広場、四阿、遊歩道など



注)この図はイメージベースです。



施設概要

位置	加須市大字下高柳、船越地区
敷地面積	A池 19.3ha (193,000m ²) (A-1:11.2ha) (A-2: 8.1ha) B池 9.2ha (92,000m ²) C池 4.2ha (42,000m ²)
貯水容量	A池 666,000m ³ (A-1:1,458,000m ³) (A-2:208,000m ³) B池 239,000m ³ C池 66,000m ³
調節流量	暫定計画 ピークカット量21m ³ /s
調節方法	越流堤による自然越流方式

遊水地施設

- 1) 周囲堤 高さ A.P. 12.309m
- 2) 越流堤 河道-A池 高さA.P. 10.459m 長さ100m
A池-B池 高さA.P. 10.109m 長さ 60m
B池-C池 高さA.P. 10.209m 長さ 40m
- 3) 排水機場 排水量 4.6m³/s (φ1,000mm×2台)
- 4) 自然排水樋管 A池-河道 2.80m×2.80m×1連
B池-A池 2.00m×2.00m×1連
C池-B池 1.25m×1.25m×1連
- 5) 通水樋管 3.0m×3.0m×2連

※上記は暫定計画です。

みんなが集う、憩う、楽しむ
多目的空間だね。



3P/4Pと
じっくりよに
みてね。



注)このページの図は全てイメージベースです。

花崎多目的遊水地周辺マップ



「花崎多目的遊水地」が誕生する加須市は、全国有数の生産量をほこる鯉のぼりと、200年の歴史を持つ手打うどんのまちとして知られてきました。見どころ、遊びどころいっぱいこのまちで、楽しい休日どうぞ。



毎年ゴールデンウィークに開かれる「市民平和祭」では利根川上空を泳ぐ、ジャンボ鯉のぼりが見られます。全長111m、重量730kg は世界一!

加須は祭り好きのまち。7月上旬から8月下旬まで、市内のあちこちで夏祭りが行われます。3年に1度、江戸時代の山車なども披露されます。



春
SPRING

夏
SUMMER



秋
AUTUMN

冬
WINTER



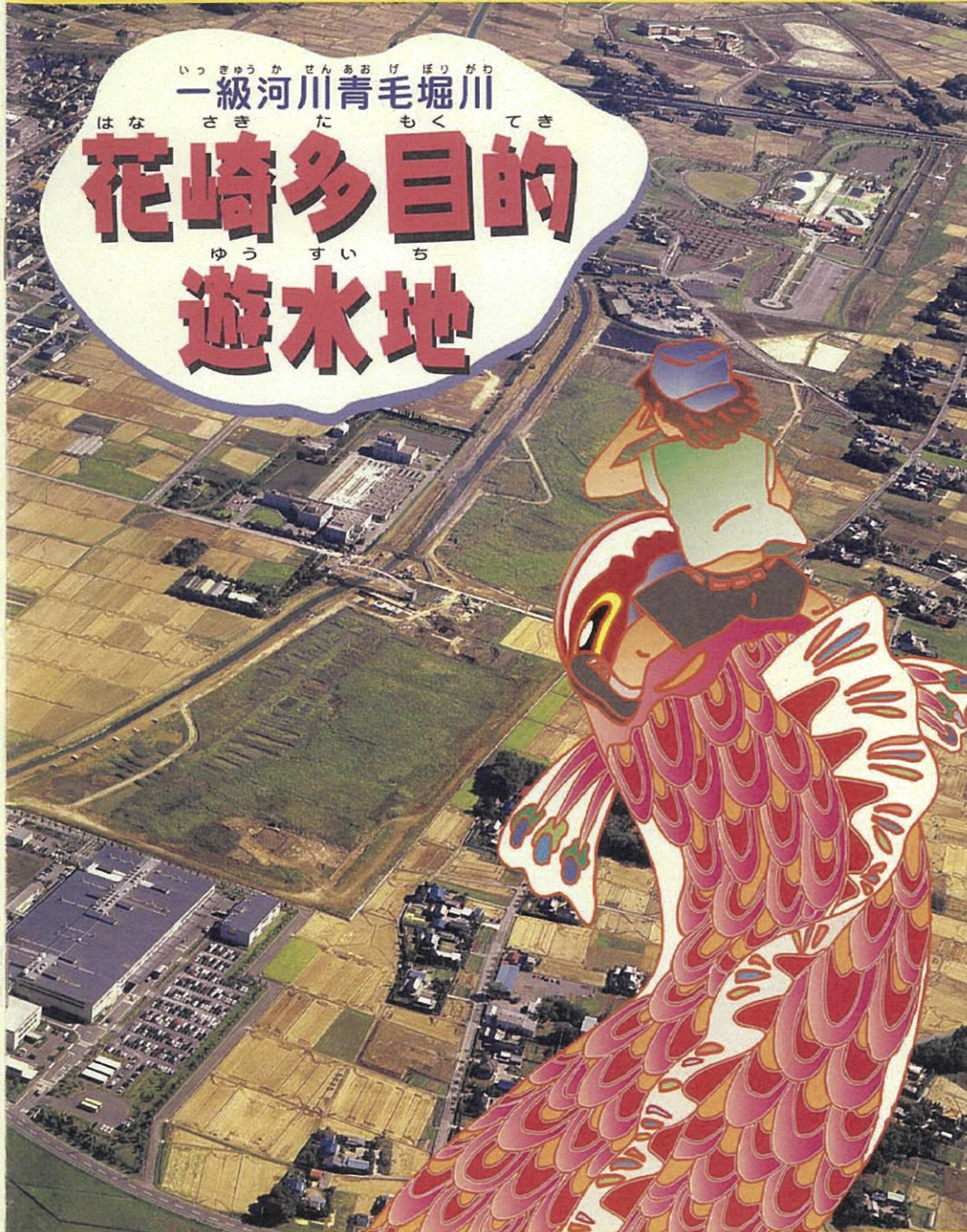
春の菜の花畑が、秋になると、利根川河川敷を埋め尽くすコスモス畑に。ロマンティックな風景を眺めながら、散歩やサイクリングを楽しんでください。

350年もの歴史を持つ「鬼追い豆まき式」。毎年2月初旬に行われる総願寺の節分会で、3mの大松明を掲げた3匹の鬼に年男達が豆を投げます。



安心で快適な暮らしのために

一級河川青毛堀川 はな さき た もく て き 花崎多目的 遊水地



花崎に みんなが喜ぶ スゴイものができる?!



えつりゅうてい^{※1}

“越流堤”って何かなあ。“排水機場”ってのもあるみたい。

はいすい きじょう^{※2}

都市化が進んでいます。

へえ、ざいふん^{まわり}に
家があるんだなあ。



この範囲に「花崎多目的遊水地」が誕生

この川が青毛堀川

加須はなさぎ
水上公園

公園になるんじゃないの？ スポーツもできるし、池もあるんだって。

埼玉県東北部を流れる「青毛堀川」は、加須市西部の水田地帯から鷲宮町および久喜市の市街地を通して、大落古利根川に合流する延長約11.2kmの一級河川です。流域は水田地帯でしたが、都市化が進み毎年のように川の氾濫による被害に苦しんできました。こうしたことから、水害からみんなの暮らしを守るために「花崎多目的遊水地」が整備されることになったのです。

※1 越流堤 一定水位以上の水を遊水地にとり入れるための特殊な堤防

※2 排水機場 ポンプ場のこと。たまった水を汲み出す施設



洪水で田畑や家が水につかって
大変だったんだよ。



思いっきり遊べる公園が
欲しかったんだ。

<p>1 青毛堀川では台風などによりよく川が氾濫していました。</p> 	<p>3 近年都市化が進み水害がたびたび起こるようになりました。</p> 
<p>2 昔は水田が多くあったため、そこに水をためることができました。</p> 	<p>4 そこで水害から人々を守る対策を考えようということになりました。</p> 



みんなの希望がかなう、そんなくつろいで楽しめる場所がほしいね。

わたしはテニスがしたいわ。

ぼくは散歩なんかがいいな。

やっぱりピクニック!

ぼくたちは野球場があったらいいと思う。

そして、こんな「花崎多目的遊水地」が生まれました。



越流堤

排水機場

青毛堀川

加須はなさき水上公園

隣接する「加須はなさき水上公園」には、5つのプールのほか、各種遊具、ボートなどが楽しめる施設があります。
「花崎多目的遊水地」には、この公園の一部としてテニスコートや野球場、散策路や庭園などみんなが楽しめる施設が計画されています。

「花崎多目的遊水地」は、住民の生命や財産を水害から守るためにつくられるもので、ふだんは公園施設として利用できるようになっています。注)この図はイメージパースです。

洪水の時も、ふだんも 大活躍するんだね。

洪水時

平常時

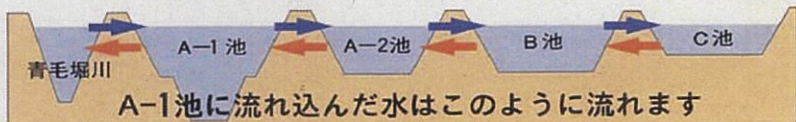
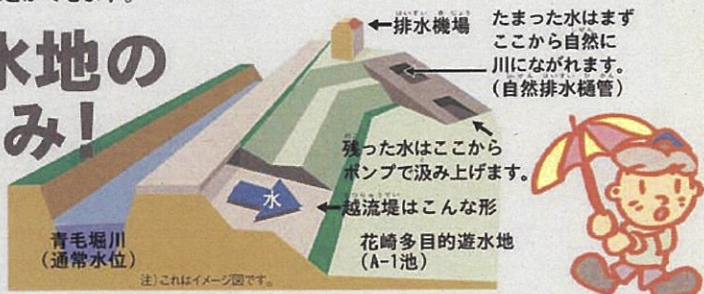


これでも大丈夫。

注) これはイメージ図です。

雨がいっぱい降って洪水が起きる心配が出てきたら、遊水地に川の水が入ってきてため池になります。これで、浸水の心配はありません。この池には最大で約97万m³の水をためることができます。

遊水地のしくみ!



→ 洪水時の水の流れ ← 平常時に戻るときの水の流れ

晴れたら、また公園で遊ぼう。



お天気がよくなり増水していた川の水が減ったら、今度は公園にたまった水を川へ戻します。そうすると、ため池は再び公園に変身。東京ドーム約7つ分という広大な面積 (32.7ha) が、ふだんもいざという時にも有効に使えるというわけですね。



1 川の水位が上がると越流堤を越えて遊水地に水が入ります。

※この断面図はイメージ図です。

2 川の水位が下がると自然排水樋管から水が落ちます。

3 底に残った水は排水機場のポンプで汲み出します。

4 水が完全になくなると平常時の公園の状態に戻ります。